

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 22 日(2025.4.22)

【公開番号】特開 2024-112165(P2024-112165A)
【公開日】令和 6 年 8 月 20 日(2024.8.20)
【年通号数】公開公報(特許)2024-155
【出願番号】特願 2023-17052(P2023-17052)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 5 B

A 6 3 F 5/04 6 0 5 D

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 14 日(2025.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

主制御手段を有し、

遊技媒体数制御手段を有し、

遊技履歴を表示可能な所定の表示装置を有し、

遊技媒体数制御手段は、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とし、

遊技媒体数制御手段の R W M 領域には、第 1 R W M 領域と第 2 R W M 領域とを有し、

遊技媒体数制御手段の第 1 R W M 領域に第 1 の情報を記憶可能とし、

遊技媒体数制御手段の第 2 R W M 領域に第 2 の情報を記憶可能とし、

30

第 1 の情報は、所定の遊技履歴に関する情報であり、

第 2 の情報は、所定の遊技履歴に関する情報であり、

第 1 の情報は、貸出しユニットに送信するための情報であり、

第 2 の情報は、所定の表示装置に表示するための情報であり、

遊技機の電源がオンとなり、貸出しユニットとの接続時間が所定時間経過した後に、遊技

機情報通知を貸出しユニットに送信可能とし、

遊技機の電源がオンとなり、遊技機情報通知を貸出しユニットに送信する前でも、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明は、

主制御手段(主制御 C P U 5 1 0)を有し、

遊技媒体数制御手段(メダル数制御 C P U 5 2 0)を有し、

50

遊技履歴（たとえば累計役物比率）を表示可能な所定の表示装置（役比モニタ 1 1 3）を有し、

遊技媒体数制御手段は、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とし、

遊技媒体数制御手段の R W M 領域には、第 1 R W M 領域（遊技機性能情報送信用記憶領域（図 9 0））と第 2 R W M 領域（役比モニタ情報算出・表示用記憶領域（図 7 9））

とを有し、

遊技媒体数制御手段の第 1 R W M 領域に第 1 の情報（遊技機性能情報として送信するたとえば累計役物比率）を記憶可能とし、

遊技媒体数制御手段の第 2 R W M 領域に第 2 の情報（役比モニタ情報を表示するためのたとえば累計役物比率）を記憶可能とし、

10

第 1 の情報は、所定の遊技履歴（たとえば累計役物比率）に関する情報であり、

第 2 の情報は、所定の遊技履歴（たとえば累計役物比率）に関する情報であり、

第 1 の情報は、貸出しユニット（2 0 0）に送信するための情報であり、

第 2 の情報は、所定の表示装置に表示するための情報であり、

遊技機の電源がオンとなり、貸出しユニットとの接続時間が所定時間（「1 0 0」ms）経過した後に、遊技機情報通知を貸出しユニットに送信可能とし、

遊技機の電源がオンとなり、遊技機情報通知を貸出しユニットに送信する前でも、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とする（図 9 3）

ことを特徴とする。

20

30

40

50